

Release Identification: LTC2919

2008.02.26

リニアテクノロジー、新製品「LTC2919」を販売開始

正電圧または負電圧電源の過電圧および低電圧状態をモニタする高精度トリプル監視デバイス

2008年2月26日 - リニアテクノロジーは、デバイス自体の電源電圧と2個の可変入力をモニタする汎用性の高いトリプル監視デバイス「LTC2919」の販売を開始しました。LTC2919にはコマーシャル温度グレード、インダストリアル温度グレード、車載温度グレードがあり、1,000個時の参考単価は202円(税込み)からで、リニアテクノロジー国内販売代理店各社経由で販売されます。

LTC2919 は、極性選択とバッファ付きリファレンス出力により、2 つの正電圧または負電圧電源の低電圧(UV)および過電圧(OV)状態をモニタすることができます。2 つの入力はスレッショルドが公称 0.5V で、全温度範囲で±1.5%の高精度を維持します。LTC2919 は 2 つの可変入力の UV または OV をモニタするほかに、-10%固定の UV で 2.5V、3.3V または 5V の電源電圧をモニタします。調整可能なトリップ・スレッショルドは外付け抵抗分割器ネットワークで設定されるので、ユーザがトリップ・ポイントを完全に制御できます。LTC2919 は小型 MSOP-10 および 3mm × 2mm DFN-10 パッケージで供給され、消費電流はわずか 50μ A です。-40% + 125% の温度範囲で仕様が規定される LTC2919 は、ネットワーク・サーバやマルチレール・システムなどのさまざまな設計で使用できます。

LTC2919 は、可変入力の状態を知らせる共通のオープンドレイン・リセット出力と 2 つのオープンドレイン・コンパレータ 出力を搭載しています。個別のコンパレータ出力により、正電源と負電源のシーケンシングを簡素化します。リセット・タイムアウト時間は 400 μ s 固定、200ms 固定、または可変時間に設定、もしくは、高速応答用にディスエーブルすることができるほか、グリッチ・フィルタにより誤ったトリガリングのない信頼性の高いリセット動作が可能です。また、 V_{cc} が 0.5V を超えると、リセット出力が保証されます。LTC2919 の V_{cc} 電源ピンは低電圧をモニタするのに加え、6.5V シャント・レギュレータを内蔵しています。このシャント・レギュレータを外付けの電流制限抵抗に接続すると、高電圧電源をデバイスに供給することができます。このため、LTC2919 はマルチチャネル低電圧設計や正または負の高電圧のモニタリングに適しています。

LTC2919 の特長

- 過電圧または低電圧状態をモニタする2つの調整可能な低電圧入力
- 2.5V、3.3V および 5V システム向けの高精度 V_{cc} UVLO
- オープンドレイン RST、OUT1、OUT2 コンパレータ出力
- ピンで選択可能な入力極性により、負電圧、UV または OV のモニタリングが可能
- 125℃までの動作を保証

- 保証スレッショルド精度: ±1.5%
- 6.5V シャント・レギュレータにより、高電圧動作が可能
- バッファ付き 1V リファレンス出力により、負電圧モニタリングが可能
- 低消費電流:50 μ A
- リセット・タイムアウト時間を調整可能
- 小型 MSOP-10 および(3mm×2mm)DFN-10 パッケージ

フォトキャプション:正電圧または負電圧電源をモニタするトリプル電源監視デバイス

Copyright: 2008 Linear Technology

以上